

はしど



☆学校教育目標

考える子・思いやりのある子・たくましい子

平成30年11月 1日
学校だより 第7号
練馬区立橋戸小学校
校長 青木俊哉
<http://www.hashido-e.nerima-ky.ed.jp/>

「特活力」を高める！

校長 青木 俊 哉

「校長先生、今度の土曜日に『みはらっこフェスタ』があるので、ぜひ児童館に来てください。」朝の登校時に、玄関で4年生に声をかけられ、招待状を受け取りました。翌日には、職員室で5年生から、「校長先生、児童館まつりの案内をしたいのですが、校内にポスターを貼ってもいいですか？」とたずねられました。貼る場所はどこにしたいか聞くと、みんなが見る可能性が高い場所として音楽室前の廊下の掲示板を希望、了解すると早速にポスターが貼られました。児童館の主催行事ではありますが、子供たちが当日に向けての企画や準備にも関わり、学校でもこのように広報活動(案内や宣伝)に取り組む機会を与えていただき、ありがたく思います。支えてくださるスタッフの皆様にも感謝しております。

どの地域でも祭りやイベントが続く秋の時期ですが、橋戸小学区でも、10/6・7の北野神社の祭礼を皮切りに、20日には三原台児童館まつり、28日に大泉東地区祭が開かれ、夏を思わせる程の好天の下、子供も大人も楽しく過ごすことができました。引き続き、今週末3日には橋戸小フェス 2018、11日はウォークラリーが予定されています。様々な行事そのものを子供たちが楽しみにしていること、またそれぞれの行事の準備や当日の運営などに子供たちを参加させていただくなど、主体的に関わる場を設けていただけたことで、子供たちが力をつけ、地域に支えられていることを実感し、地域を好きになっていくように思います。

さて、学校でも今月の土曜公開にて「橋戸縁日」を行います。学級ごとに“遊びのお店”を出店し、他の学級のお店に遊びに行き、互いに交流する行事です。各学級で学級会の時間を持ち、企画を練る話し合いからスタート、お店の調整や宣伝など店長会議を通して伝えられたことを改めて学級ごとに確認し…、1週間前となりました。地域行事への参加とは異なりますが、子供たちが主体的に関わり取り組むことで力をつける、そんな場面が見られることを楽しみにしています。

「特活力」、きちんと定義づけられた言葉ではありませんが、私は**“教科で身に付けた力(聞く・話す力、思考力・判断力など)を、学級での話し合い活動や係活動、委員会活動、学校行事への関わりなどを通して実践化する力”**と捉え、学校の重点の一つとして力を入れて取り組んでいます。例えば、国語の学習で「話し合いの仕方」を学ぶ機会がありますが、この話し合いで出た結論を実際に行動に移すことはなかなかありません。しかしながら、学級活動における話し合い活動では、テーマは**“学級内での問題”の解決**や**“次の取組に向けて”の準備**が中心ですから、身近なことであり、結論は自分たちの生活に直結します。担任教師の指導の下、話し合ったことを具現化することを通して、より実践的な力が高まると考えます。

さて、改めて「橋戸縁日」を案内致します。子供たちが主体的に話し合い取り組んできた成果を、今月の土曜公開にてご覧いただきます。ぜひご来校ください。